

授業科目 生涯発達看護学概論

【担当教員名】 岩田みどり	対象学年	2 年	対象学科	看護学科
	開講時期	前期	必修・選択	必須
	単位数	1 単位	時間数	1 5 時間
【一般目標：G I O】 本科目では、人間のライフサイクル（生涯）を、胎児期・新生児期・乳児期・幼児期・学童期・青年期（思春期含む）・壮年期・老年期に区分し、人間の発達や発達段階別の生活や環境を理解する。また、各期に代表的な発達問題を理解し各期の看護の特徴を考察する。				
【行動目標：S B O】 1）人間のライフサイクル（生涯）の変化や生活の特徴を説明できる。 2）各期に関連した発達理論（発達課題）を説明する。 3）各期の生活と発達課題を対比させ発達問題を説明できる。 4）各期の発達問題に対する看護の概要を説明できる。 5）各期の特徴を踏まえ、発達問題の解決案を考察できる。 6）人間を対象として看護する上で、生涯発達理論を踏まえた看護の必要性を考察できる。				
回数	授業計画又は学習の主題		SBO 番号	
1 回目	1）人間のライフサイクル（生涯）を8区分に定義し、その変化と主な発達理論（発達課題）について説明する。		1・2	講義
2 回目	2）胎児期・新生児期では、子宮内から外への適応や新生児の能力を紹介し、主な発達問題と影響因子に対する看護について説明する。		3	母性看護学（塚本）の講義
3 回目	3）乳児期・幼児期では、活動・言語・生活習慣の自立や主な発達問題について説明する。		4	講義＋グループワーク
4 回目	4）乳児期・幼児期の主な発達問題（愛情剥奪症候群など）について説明する。		3	講義＋ショートレポート
5 回目	5）学童期・青年期では、身体と心の変化の特徴や主な発達問題について説明する。		4	講義
6 回目	6）壮年期・老年期では、身体と心の変化の特徴や主な発達問題と看護について説明する。		5	老年看護学（梨本）の講義
7 回目	7）各期の発達問題の特徴を整理して説明する。また、学生は生涯発達理論を踏まえた対象理解と看護について（看護者の役割を含む）を考察する。		6	講義
【使用図書】 教科書 （必ず購入する書籍）				
＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞ ナーシンググラフィカ 小児看護学/小児の発達と看護、メディカ出版、3,600円				
参考書 事例で学ぶ生涯発達臨床心理学、杉原一昭、福村出版、2800円 わかりやすい発達心理学、無藤隆、ミネルヴァ書房、2400円				
その他の資料 講義の中で各担当者から提示する				
【評価方法】 筆記テスト50％＋個人課題レポート 40％＋出席10％		【履修上の留意点】 1 回目に説明する。		